2011.10.19
エルイー創造研究所

聴松閣活用・展示計画（案）

Ⅰ　基本的な考え方

・　建設当時に復原修復した聴松閣の建物そのものを見てもらい、揚輝荘を知ってもらいます。
・　揚輝荘の建設者伊藤祐民氏の業績を通して、近代名古屋の成立過程を広く市民に伝えます。
・　歴史的価値のある空間を活用した企画展示などにより、創造性を触発される場とし、質の高い地域文化創造につなげます。

Ⅱ　空間構成（ゾーニング）・動線計画

①　座敷からのアプローチ（座敷の整備公開後）

来訪者玄関を集約、案内所設置など
・座敷の玄関にて来訪者をお迎えします。
・施設全体を把握できる場とします。
・地域活動や地域の案内の場とします。

②　聴松閣

玄関からの入館
・基本的に聴松閣の外部に簡易な小屋を設け、入場チェックを行います。
・聴松閣及び南園の入場料を徴収します。
・事務室を管理事務所として活用します。
・下駄箱及び靴袋設置（選択）

Ａ　近代名古屋伝承ゾーン

聴松閣 1 階を中心に、常設展示
・揚輝荘の歴史展示・・・ホール、2F 応接室、旧書斎
・伊藤次郎左衛門祐民氏の経歴紹介・・・居間
・祐民氏の時代（明治～昭和初期）の名古屋の財界や社会状況の紹介
　・・・サンルーム（1F）、喫茶室（カフェとして利用）

Ｂ　地域文化創造ゾーン

聴松閣 2 階を中心に、企画展示
・展示活用室・・・寝室 A・B、サンルーム（2F）、更衣室

Ｃ　市民交流ゾーン

聴松閣地階を中心に、イベント開催
・各種交流イベント開催・・・舞踏場、舞台
開館時間は、見学可能な状態で使用（無料）
夜間は、有料の貸室として活用。

Ⅲ　運営計画

■開館時間／午前 10 時～午後 5 時
■休館日／月曜日（祝日の場合は直後の平日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
■入場料（南園のみ）／大人 300 円、定期入場券大人 1,200 円
※中学生以下は無料
■貸室
①舞踏場及び舞台（B1F）（81 ㎡）
利用内容を審査し貸し出す。
利用料金
開館時間の使用は無料。ただし、見学者の入室を拒まないこと。
夜間（17：30～21：00）は 2,800 円
②旧納戸（B1F）（15 ㎡）・・・会議室、控室として利用
利用内容を確認し貸し出す。
料金

午前	（10：15～12：30）	300 円
午後①	（12：45～14：45）	300 円
午後②	（15：00～17：00）	300 円
夜間	（17：30～21：00）	500 円

利用申込み
①は利用日の 6 ヶ月前の初日から先着順に受付
②は利用日の 3 ヶ月前の初日から先着順に受付

Ⅳ　必要な調度品

■家具
大正から昭和初期頃の椅子や机を購入し展示
揚輝荘に現存するものがあれば使用
設置場所：旧居間、旧 1 階サンルーム、喫茶室、旧書斎、旧応接室
＊来場者の使用を認める。（要検討）
■道具
昭和初期の調理器具や道具等を購入し展示
設置場所：旧料理室（B1F）・・・調理道具、食器、蓄音機、電話、ラジオなど

Ⅴ　展示内容の検討

■説明パネルＡ
近代名古屋伝承ゾーンの説明
■説明パネルＢ
建物の説明（部屋又は仕上げなど）
■図面展示
聴松閣の設計図
■書籍・資料
揚輝荘に関する書籍、資料等

聴松閣展示計画案

１．説明パネルＡ

①揚輝荘の説明（１）
・揚輝荘とは
「揚輝荘」小史
戦前（昭和 14 年頃）の建物配置
②揚輝荘の説明（２）
・揚輝荘の主な建物概要（現存しているもの、していないもの）（「揚輝荘主人遺稿」などより）
③揚輝荘の説明（３）
・聴松閣の概要
用途の変遷等
特にアジアからの留学生との関係
④揚輝荘の説明（４）
・揚輝荘保存・活用に向けての取り組み
建築士会の取り組み（国際建築トリエンナーレ）
城山・覚王山地区魅力アップ事業（まちづくりの中での保存・活用の動き）
⑤南庭園の紹介
庭園案内図、見どころ紹介
灯篭等の説明
植生の説明
⑥伊藤次郎左衛門祐民の紹介（１）
伊藤家の歴史、祐民の生涯　年譜
⑦伊藤次郎左衛門祐民の紹介（２）
祐民の業績紹介　事業家としての業績、財界活動、社会事業（衆善会）
⑧近代名古屋の財界・社会状況について（１）
・明治から昭和初期の名古屋の発展について
都市づくりの一環としてのデパートづくり
名古屋駅、名古屋国際ホテル、名古屋市公会堂など
⑨近代名古屋の財界・社会状況について（２）
日泰寺誘致と寺院の移転、名古屋東部へのまちの発展
⑩祐民インド旅行
インド旅行
インド等の意匠を取り入れた地下空間の説明（野々垣氏）

２．説明パネルＢ　　＊揚輝荘主人遺稿などの写真を示しながら主に部屋の紹介

①地下通路の説明
②壁画の説明
③舞踏場の説明
④女神像・暖炉彫刻等の説明
⑤玄関床・扉の説明
⑥ホール・階段の説明
⑦居間の説明

⑧サンルームの説明
⑨旧食堂の説明
⑩旧書斎の説明
⑪旧応接室の説明
⑫ホール・吹抜の説明
⑬旧寝室の説明

３．現物展示

１）図面等（写しを展示）
揚輝荘平面図（青焼図面）（伊藤家所有）
東山山荘新築設計図（青焼図面）（伊藤家所有）
揚輝荘　第２女子寮図（松坂屋名古屋店営繕部所有）
揚輝荘座敷図面（伊藤家所有）
聴松閣棟札

２）家具
大正から昭和初期頃の椅子や机を購入し展示
揚輝荘に現存するものがあれば使用
設置場所
旧居間、旧１階サンルーム、喫茶室、旧書斎、旧応接室
＊来場者の使用を認める。（要検討）

３）道具
昭和初期の道具等を購入し展示
設置場所
旧料理室（B1F）・・・調理道具、食器など
旧納戸（B1F）・・・蓄音機、電話、ラジオなど

４）書籍・資料
2 階旧書斎に揚輝荘に関わる書籍・資料（写し）を展示
・『戊寅年契』
・『揚輝荘主人遺稿』
・『伊藤祐民伝』
・『揚輝荘、アジアに開いた窓　選ばれた留学生の館』
・『十五代伊藤次郎左衛門祐民追想録』
・『衆善会のあゆみ 60 年』
など
＊来館者がその場で閲覧できるようにする。

４．ビデオ上映

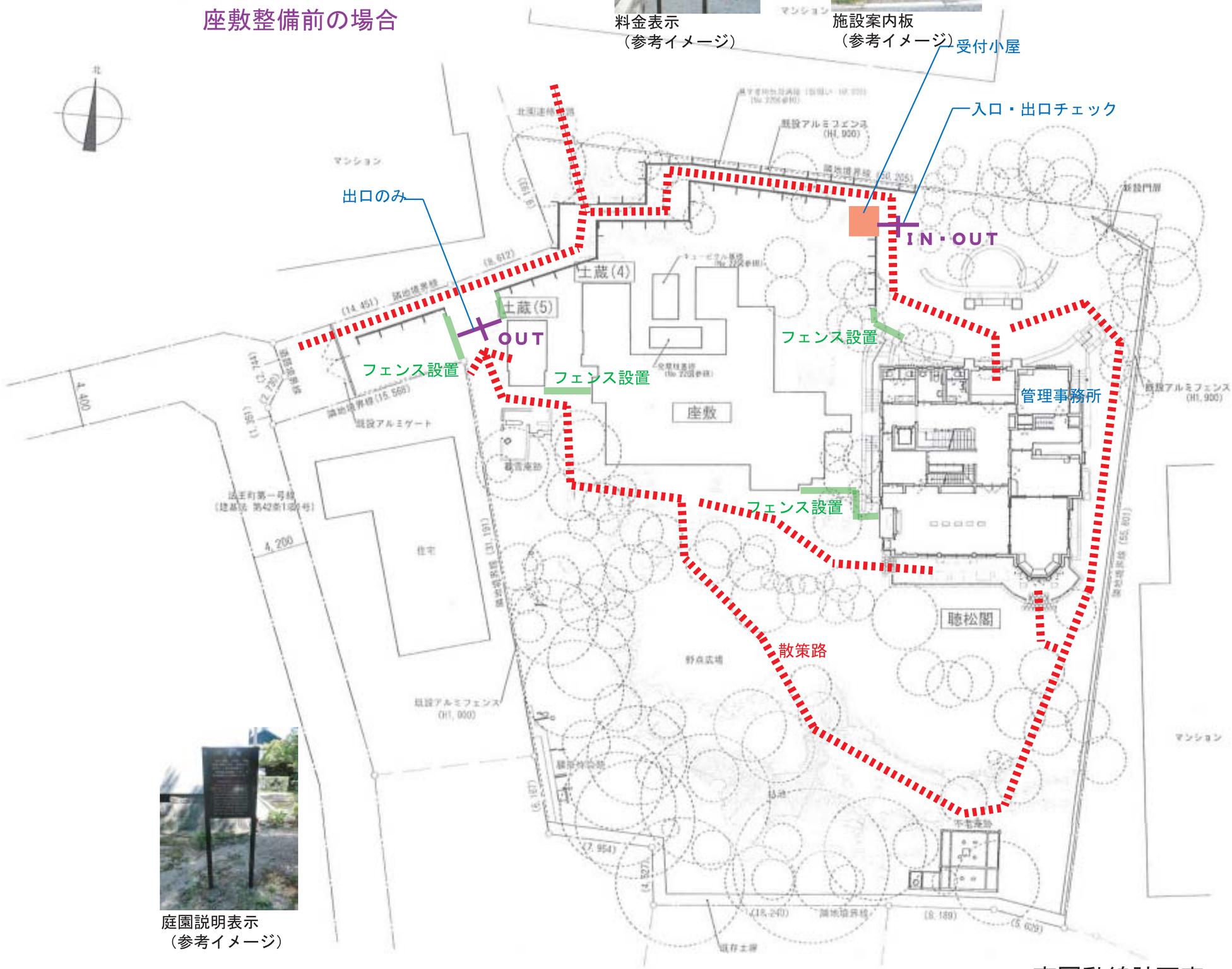
１階喫茶室にて上映
・揚輝荘の紹介（オリジナルで制作）
・聴松閣復原工事の記録映像
・祐民インド旅行映像（長谷川傳次郎撮影）

以上

座敷整備前の場合

料金表示
（参考イメージ）

施設案内板
（参考イメージ）

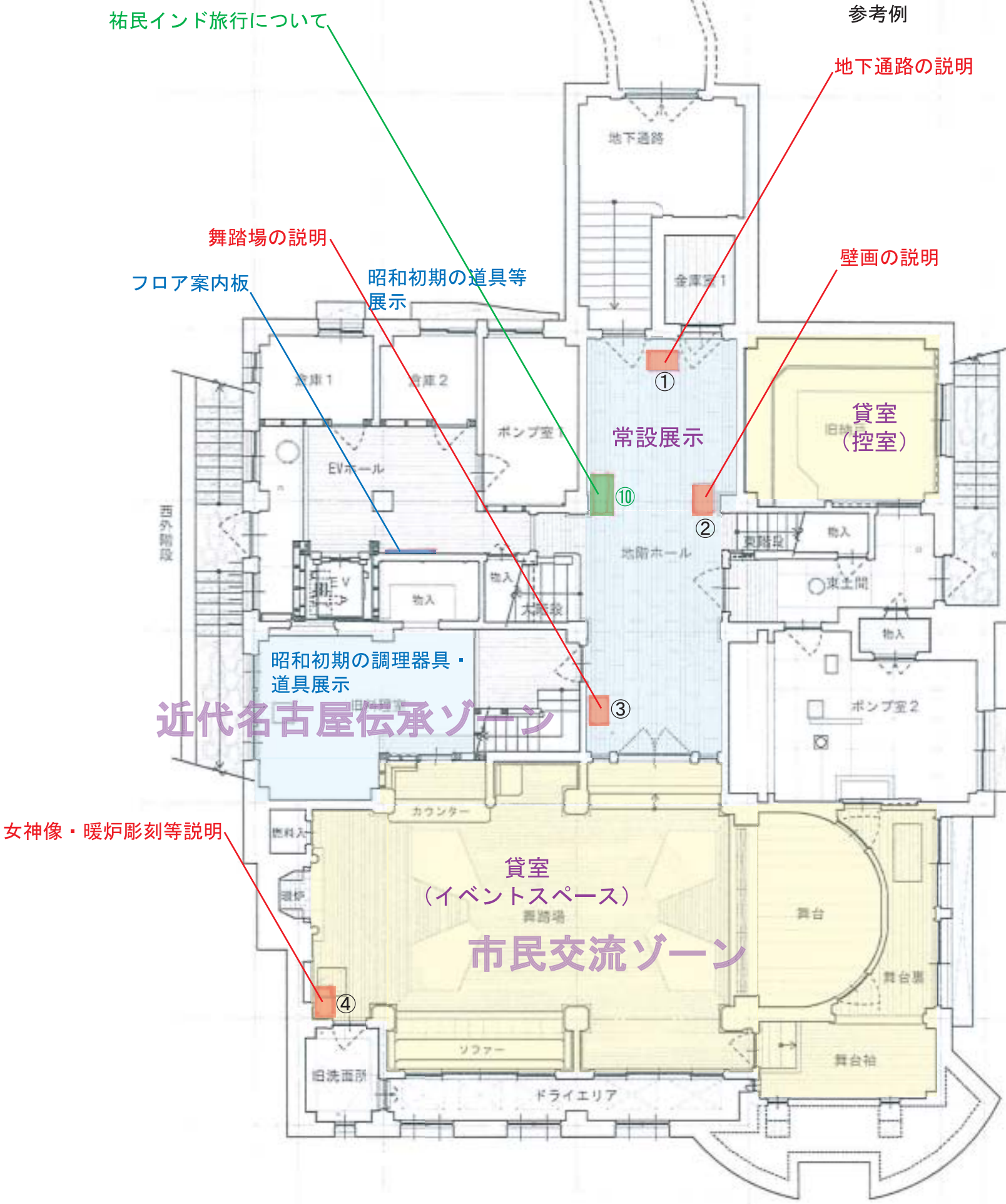


庭園説明表示
（参考イメージ）

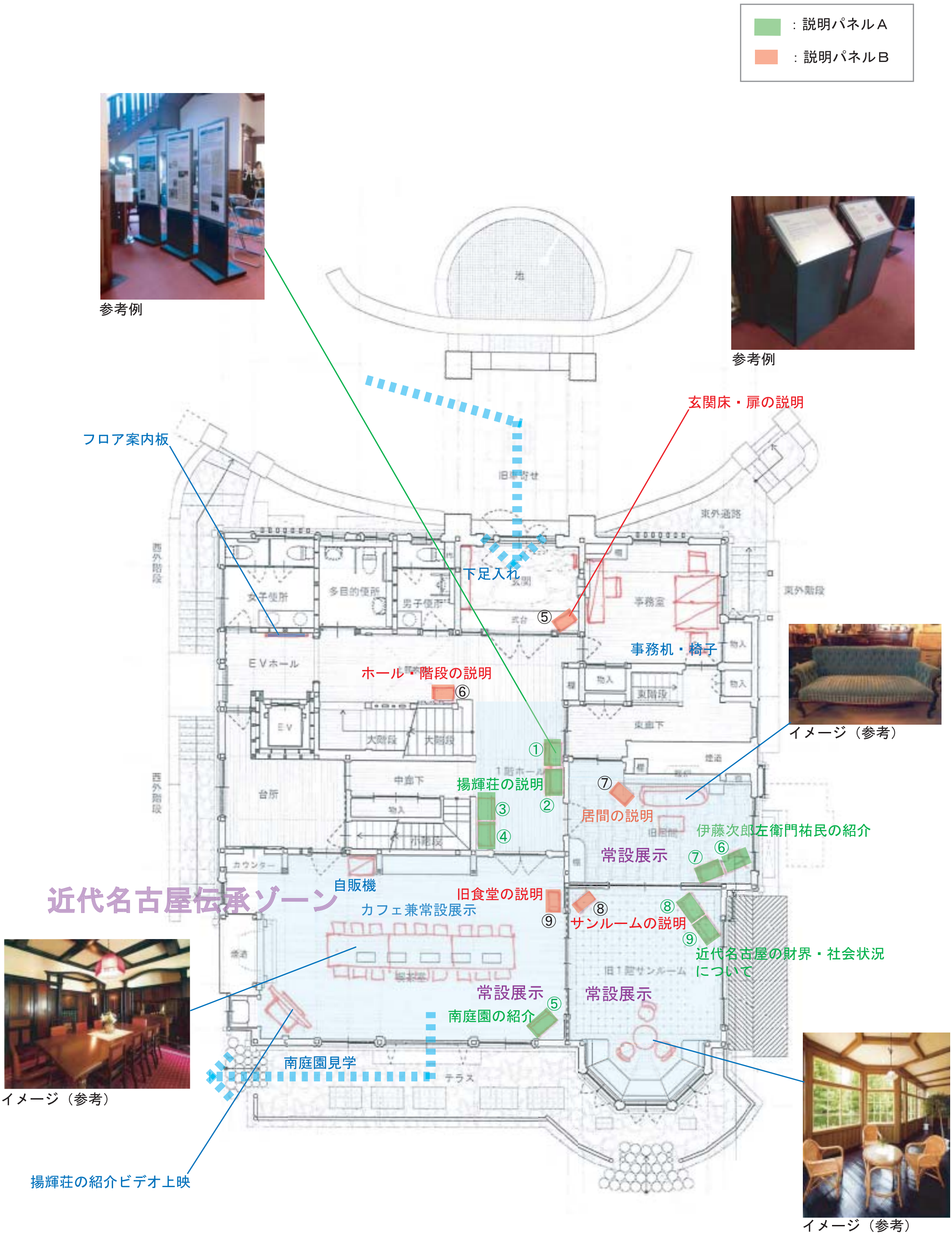
南園動線計画案

参考例

参考例



聴松閣　地下１階　展示計画案

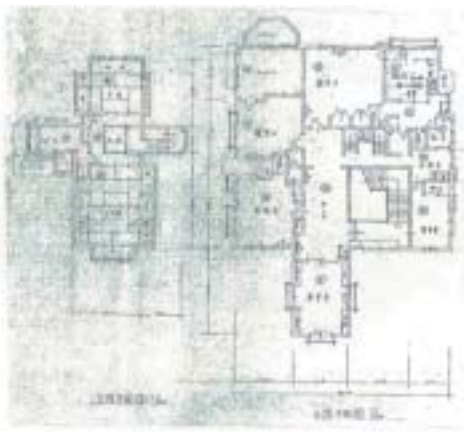


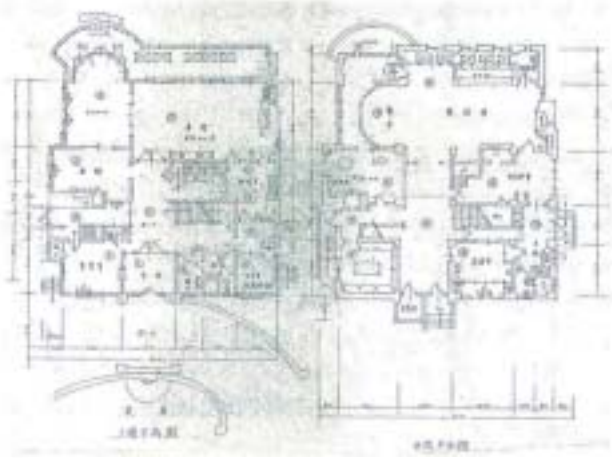
：説明パネルＡ
：説明パネルＢ
参考例
参考例
玄関床・扉の説明
フロア案内板
下足入れ
事務机・椅子
ホール・階段の説明
イメージ（参考）
揚輝荘の説明
居間の説明
伊藤次郎左衛門祐民の紹介
常設展示
自販機
近代名古屋伝承ゾーン
旧食堂の説明
カフェ兼常設展示
サンルームの説明
近代名古屋の財界・社会状況について
常設展示
常設展示
南庭園の紹介
南庭園見学
揚輝荘の紹介ビデオ上映
イメージ（参考）
イメージ（参考）

聴松閣　１階　展示計画案

イメージ（参考）

イメージ（参考）



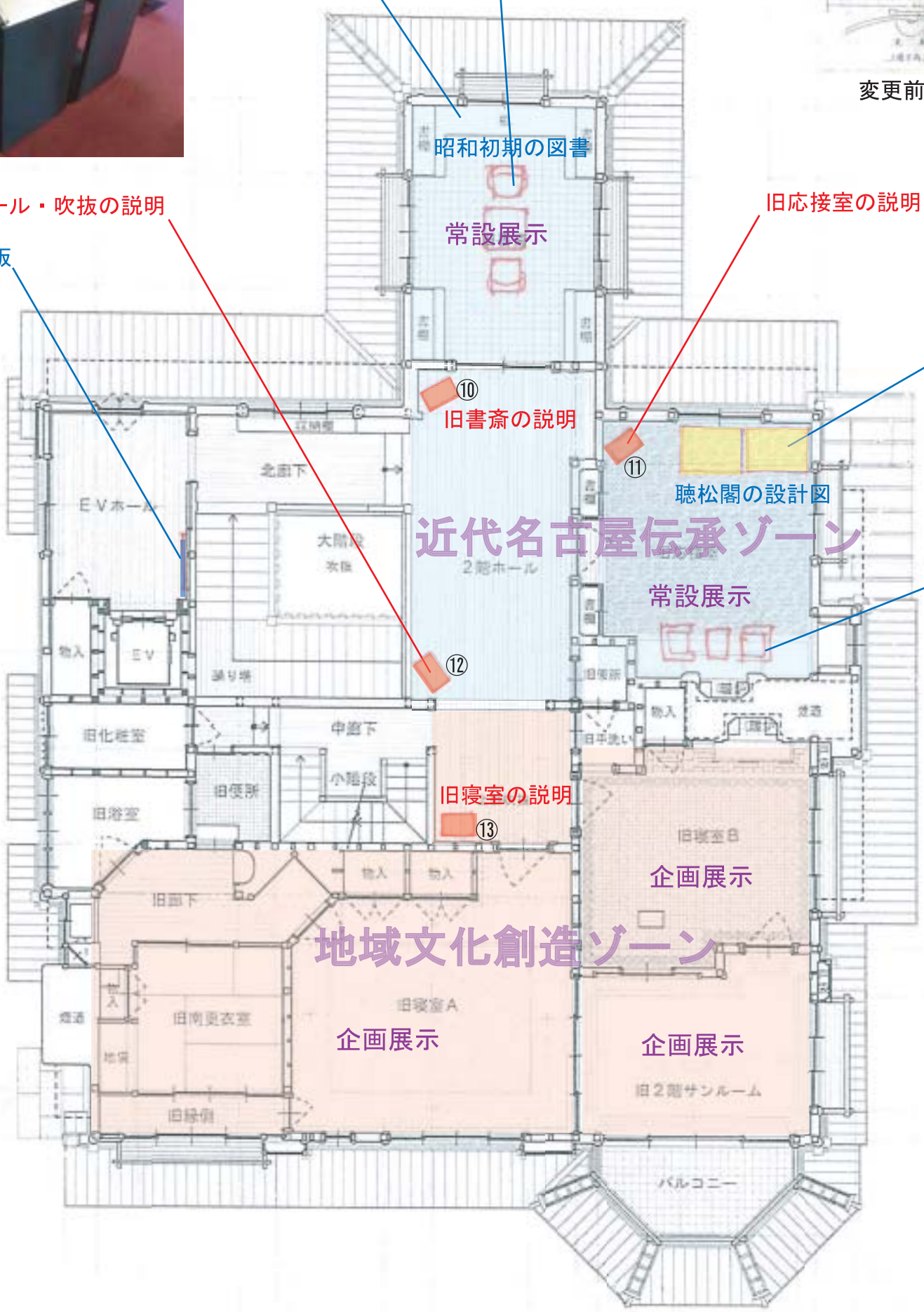


変更前・変更後など展示（図面写し）

参考例

参考例

イメージ（参考）



聴松閣　２階　展示計画案